

レオパレス 21、LGBTQ の取り組みを評価する「PRIDE 指標 2020」において
2 年連続でブロンズ賞を受賞

株式会社レオパレス 21(東京都中野区 社長:宮尾 文也、以下:レオパレス 21)は、企業における LGBTQ(※)などのセクシュアル・マイノリティ(以下、LGBTQ)への取り組みに関する評価の指標を定めた「PRIDE 指標 2020」において、2 年連続でブロンズ賞を受賞しました。

■「PRIDE 指標 2020」とは

任意団体「work with Pride」によって、2016 年に日本で初めて職場における LGBTQ への取り組みについて策定された評価指標で、今年で 5 回目の開催となります。「企業・団体等の枠組みを超えて LGBTQ が働きやすい職場づくりを日本で実現する」ことを目的としており、評価指標は以下の 5 つの項目から構成されています。

- 1.<Policy: 行動宣言>
- 2.<Representation: 当事者コミュニティ>
- 3.<Inspiration: 啓発活動>
- 4.<Development: 人事制度、プログラム>
- 5.<Engagement/Empowerment: 社会貢献・渉外活動>

※PRIDE 指標の詳細はこちらをご覧ください。<http://workwithpride.jp/pride-i/>



(※)LGBTQ:レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)、クイア/クエスチョニング(Queer/Questioning)の頭文字。

■受賞概要

【受賞日】2020年11月11日

【受賞名称】「PRIDE 指標 2020」ブロンズ賞

【主催】work with Pride

【受賞理由】「性差別をしない」という方針を組み込んだ「ハラスメント撲滅宣言」を社内外に公表、LGBTQ に関する E ラーニング、フォーラムの実施、理解促進のためのハンドブックや啓蒙記事の作成・発信 等

<本件に関するお問い合わせ>

<本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先>
株式会社レオパレス 21 広報グループ TEL.03-5350-0445

■レオパレス 21 の LGBTQ に関する主な取り組み

レオパレス 21 は多様な人材に対応した働き方改革を推進しており、LGBTQ に関して社内理解を深めるための様々な取り組みを実施しています。

- ・「LGBTQ」の基礎知識に関する啓蒙記事を社内報および法務部門発行のニュースレターで社内に発信。
- ・全社員を対象に「LGBTQ」に関する E ラーニングを実施。
- ・「LGBTQ 当事者」による社内フォーラムを実施、受講者にはアライシール(※)の配布。
- ・「LGBTQ」等の理解促進のためのハンドブックを作成し、全社展開。
- ・「性差別をしない」という方針を組み込んだ「ハラスメント撲滅宣言」を社内外に公表。
- ・採用時エントリーシートから性別記載欄を削除。

(※) アライ(ally)とは、LGBTQ を理解・支援する人たちのことです。アライシールを手帳やノート PC などに貼ることで、対外的にアライであることを表明し、当事者に安心感を与えることができます。

レオパレス 21 は今後も、さらなる LGBTQ への理解を深めるとともに啓蒙を推進し、多様な人材が働きやすい職場環境を整えることで、誰もが個々の力を発揮し活躍できる社会づくりに貢献してまいります。

■ 会社概要

株式会社レオパレス 21

設立：1973 年 8 月 17 日

本社住所：〒164-8622 東京都中野区本町 2-54-11

代表者：代表取締役社長 宮尾文也

レオパレス 21 企業サイト：<https://www.leopalace21.co.jp/>

賃貸事業 公式サイト：<https://www.leopalace21.com/>

The logo for Leopalace21, featuring the company name in blue Japanese characters with a stylized '21' and a crown-like symbol above the '1'.